

関西三扇会から羽ばたく同窓生を紹介します

関西三扇会には、笑福亭 瓶吾（昭和 63 年卒）さん、桂 かい枝（平成 6 年卒）さんの 2 人の落語家が在籍し大活躍しております。高崎経済大学卒の同窓生が上方落語協会に 2 人もいることは稀有なことだと思います。

ところが、桂 弥っこ（平成 24 年卒）さんが、10 年の修行を終え、令和 7 年 2 月 8 日に第 1 回の独演会を開催し、一人前の落語家として大きく羽ばたきました。

当日は、上方落語界のメッカとも言える天満天神繫昌亭の 2 階席まで満席として『青葉』『柳田格之進』ほか 3 席を披露されました。

同窓生も数名応援に駆け付けし、彼の話芸や顔芸を堪能しました。しかし、私達の一番印象に残ったのは、弥っこさんのフレッシュさと瞳がキラキラ輝いていたことです。

これからは、瓶吾先輩との二人会やたくさんの勉強会等の出番を持つこととなりますので関西三扇会では、引き続き精一杯の応援をして参ります。

全国の同窓生の皆様、大学関係の皆様、『桂 弥っこ』の応援をよろしくお願い致します。

『桂 弥っこ』プロフィール

本名 三島 学（みしま がく） 島根県立松江南高等学校卒業。平成 24 年高崎経済大学卒業。
在学中に友人に勧められ、生前の桂 枝雀の DVD を見て、東京・新宿や上野の寄席に通うようになった。メーカーの営業職に就いたが、落語への思いを断てず 1 年半で退社。

平成 26 年 2 月 桂 吉弥に入門。同年 大阪府交野市の寺で初舞台。

桂 吉弥の元で 10 年間修業。

島根県では、雲南市長が後援会長。 兵庫県尼崎市在住。

関西三扇会 会長

川原畑 浩